

『ナラティヴ・メディア研究』の電子化・公開に伴うお知らせ及びお願い

2022年3月3日

2007年の発足以来、ナラティヴ・メディア研究会へのご支援、ご協力ありがとうございます。研究会主催者（森本浩一、森田直子）はこのたび、会誌『ナラティヴ・メディア研究』を電子化し、東北大学機関リポジトリ（以下「TOUR」とします）を通じて公開することを検討しております。『第1回ワークショップ報告書』（2008）から『ナラティヴ・メディア研究』第7号までのバックナンバーを電子化・公開し、今後の号についても、冊子刊行と並行して電子化・公開したいと考えています。TOURのURLは以下の通りです。

<https://tohoku.repo.nii.ac.jp>

つきましては、『ナラティヴ・メディア研究』およびその前身の報告書（2008、2009）に論文を発表された皆様には、電子化・公開推進のために、以下の点をご留意ご了承くださいたくお願い申し上げます。

1. バックナンバーの論文の電子化・公開について

本来であれば、すべての著者とコンタクトをとり、電子化・公開の許諾をいただけるかお伺いすべきところですが、容易ではない場合もあると考えられます。よって、この文章をお読みいただき、既刊号に掲載された論文の電子化・公開を辞退される場合には、

2022年4月30日までに

下記連絡先に申告していただくこととさせていただきます。その期間にお申し出のなかった論文につきましては、電子化・公開の許諾が得られたものとして扱い、TOURへの登載を進めることといたします。なお、著作権は論文著者に帰属し、東北大学に移転することはありません。TOURの運用指針につきましては下記のページをご参照ください。

https://tohoku.repo.nii.ac.jp/?page_id=38

「ナラティヴ・メディア研究」バックナンバーの内容一覧は以下に記載されています。

<http://www.media.is.tohoku.ac.jp/~morita/nm.html>

電子化・公開を希望されない場合は、論文の題目と掲載号を明記して、下記の事務局の連絡先に郵送・FAX、または電子メールにてご連絡ください。その期日を過ぎた後でも、著者あるいは著作権継承者から論文の公開を差し止めるご要望があった場合には、本会はその意思に従い登載を取り下げ、非公開といたします。改変・更新の必要がある場合も、対応できます。TOURの「運用指針」では以下の通り説明されています。

13.登録済みのコンテンツに対し、提供者から改変の申し出があった場合は、別バージョンのコンテンツとして更新する。コンテンツ自体の非公開・削除について提供者から申し出があった場合は、これを認める。

2. バックナンバーの論文に図版を使用した著者のみなさまへ

冊子版に掲載されている図版は、電子版では原則として白抜きにいたします。電子版での図版掲載ご希望の場合は、電子化による公開のための著作権、掲載許可等の権利処理を著者自身でおこなったうえで、白抜きにしない旨ご指示ください。

学術研究の環境向上のために、上記の対応にご理解とご協力をお願いいたします。

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3-09
東北大学大学院情報科学研究科 森田直子

Fax 022-795-4788 (直通)

e-mail morita@media.is.tohoku.ac.jp (アットマークを小文字にしてください)